

平成15年度ヨコワ情報

平成15年12月1日

鹿児島県水産試験場



1 本年度のヨコワの来遊予測

本年12月から来年4月までの本県へのヨコワの来遊は、次のように予測されます。

漁獲量は、前年(42トン)・平年(24トン)を下回り、10～16トン程度とされます。
漁期は、平年に比べやや遅れ気味で、初漁は1月下旬頃になるとされます。
主漁期は、2～4月と予測されますが、漁況は散発的なものになるとされます。
魚体は、今年春生まれの3～4kgサイズのヨコワが主体になるとされます。
3月以降、今年夏生まれの当歳魚及び前年春生まれの2歳魚の来遊は少ないものの、今年春生まれの当歳魚が来遊する可能性は高いとされます。

2 予測の根拠

一般的に、長崎県対馬海域では、10月頃にヨコワ漁場が形成され、その後、翌年の1月頃になるとヨコワ漁場は長崎県五島海域に南下するが、その後の海況条件等が整えば一部のヨコワ魚群が翌年の1月以降、本県海域に来遊してくると考えられる。

今期、現在まで得られている情報は、次のとおり。

- | | | |
|-------------------|------------|-------------------|
| (1)冬季の水温 | 平年並み | (詳細は、3-(1)- , 参照) |
| (2)長崎県対馬・五島海域の漁模様 | 今のところ不漁 | (詳細は、3-(2)- , 参照) |
| (3)高知県の漁模様 | 今年は好漁 | (詳細は、3-(2)- 参照) |
| (4)日本海の産卵親魚の漁模様 | 平年並み | (詳細は、3-(3)- 参照) |
| (5)カタクチイワシの漁模様 | 前年を上回り平年以下 | (詳細は、3-(1)- 参照) |

これらを総合的に検討すると、本県の漁期全体のヨコワの漁獲量は、今後の海況条件等にもよるが、「あまり期待できない」と考えられる。

今後、水試が発表する水温情報に注目してください。目安は、**18～20 の水温帯**です。

3 情報

(1)漁海況に関する情報

(社)漁業情報サ - ビスセンタ - 発行の「東シナ海漁海況速報」では、10～11月中旬の黒潮～対馬暖流域の表面水温分布は、平年・前年と比較すると「平年並み～1 低め」で推移しており、11月に入ってから緩やかに降温している。

独立行政法人 水産総合研究センタ - 西海区水産研究所が平成15年10月に発表した「平成15年度第1回東シナ海海況予報」によると、平成15年10月～平成16年3月にかけての海況の見とおしは次のとおり。

海流及び水系分布

・トカラ海峡における黒潮北縁部の位置は、過去の変動傾向から判断すると、前半は「接岸傾向」、後半は「離接岸を繰り返しながら」推移する。

- ・九州西方における対馬暖流水の分布は、前半は「東偏」、後半は「西偏」で推移する。

水 温

表層水温は、前半には西薩・甑沖、薩南沿岸、黒潮域では、「**平年並み～やや高め**」、後半には西薩・甑沖、薩南沿岸では、「**平年並み**」、黒潮域では、「**平年並み～やや高め**」で経過する。

カタクチイワシ

平成15年10～12月期の「**鹿児島県の海況と浮魚類漁況の予報**」では、カタクチイワシの漁獲の主体は中羽(0歳魚・平成15年生まれ)で、来遊量は「**前年を上回り、平年を下回る。**」

(2)現在までのヨコワ情報

日本海方面

山口県...11月下旬現在、好調な漁模様。

島根県...ヨコワは、まき網・釣・定置網での漁獲が主体で盛漁期は11月であるが、11月下旬現在、低調な漁模様。本格的な漁は12月以降になる見通し。

新潟県...定置網でのメジ(20kg以下)・ヨコワ(5kg以下)の漁獲量は、11月下旬現在、前年・平年を下回って低調な漁模様。

対馬方面

11月下旬現在、対馬北部海域では、まだ本格的な漁には至っていない。

五島方面

11月下旬現在、五島方面では、まだ本格的な漁には至っていない。

太平洋方面

宮崎県...11月下旬現在も浮魚礁周辺で、キハダ主体にカツオ、シイラ等の漁獲はあるものの、まだ本格的な漁には至っていない。

高知県...7月16日頃(前年より2日早い)から開始され、その漁獲尾数は**約28,000尾**で前年の**約13,000尾**、平年値の**約25,000尾**を上回った。11月下旬以降は低調な漁模様。

鹿児島県沿岸域

笠 沙...笠沙～甑島海域での曳縄による水族館用種苗のヨコワ採捕は、前年同様8月上旬に開始されたが、前年と異なり、回遊量が非常に多かったため、注文数を早めに確保し終漁した。しかし、その後は、定置網への入網は見られない。

平成15年：2,882尾、平成14年：249尾、平成13年：883尾、平成12年：171尾

甑 島...定置網へのヨコワの入網は見られない。

(3)クロマグロ大型群に関する情報

太平洋方面

北部太平洋で今年の1～9月に大中型まき網により漁獲されたクロマグロは、20kg以上の「**マグロ**」の漁獲量が**173トン**(1,897トン)、20kg未満の「**メジ**」の漁獲量が**143トン**(163トン)で、「**マグロ**」の漁獲量は、前年同期の**6.6%**で前年より**2,452トン**減少し、「**メジ**」についても前年同期の**74.5%**で前年より**49トン**減少した。

日本海方面

日本海の境港に今年、大中型まき網により水揚げされたクロマグロは、**漁獲量433トン**(695トン)、**漁獲尾数6,768尾**(6,655尾)で、前年と比較すると、漁獲量で62.3%と大幅に減少したものの、漁獲尾数で101.7%と僅かに増加した。

また、1尾当たりの平均個体重量は、前年よりかなり小さい**60kgサイズ**(120kgサイズ)にモ - ドあり、珍しく1999(**平成11**)年級の**4歳魚**が漁獲の主体(一部、1994(**平成6**)年級の**9歳魚**)となっている。

(4)本県における水揚げ量の経年変化

過去の枕崎港の水揚げ実績を見ると200トンを超えるような好漁年の期間と50トンに満たない不漁年の期間が交互に来る周期が伺える。昭和61年以降は、10トンに満たない低調な年が続いていたが、平成6年に55トン、平成8年に17トン、平成11年に42トン、平成13年に38トン、平成14年に39トンと近年はある程度の漁獲のある年も見られる。

笠沙港においても昭和60年までは周期的な豊漁年が見られたが、昭和61年以降、漁が途絶えていた。しかし、平成8年は、昭和60年以来10年ぶりに**16トン**と10トンを超える漁獲があった。

(情報及び資料の収集先)

本情報の作成にあたっては下記の団体、機関に多大なる御協力をいただきました。心から感謝します。ありがとうございました。

小値賀町漁協・五島漁協・上対馬町漁協・上県町漁協(長崎県)
甑島漁協・笠沙町漁協・野間池漁協・枕崎市漁協(鹿児島県)
北部太平洋まき網漁業協同組合連合会・山陰旋網漁業協同組合
新潟県水試・鳥取県水試・島根県水試・山口県水試・高知県水試・長崎県水試・宮崎県水試
対馬水産業普及指導センタ - ・五島水産業普及指導センタ -
独立行政法人水産総合研究センタ - 遠洋水産研究所

鹿児島県水産試験場

〒892-0836 鹿児島市錦江町11番40号

TEL : 099-226-6415 , FAX : 099-225-6118



E-mail : suishi@po.pref.kagoshima.jp

ホームページ : <http://chukakunet.pref.kagoshima.jp/suishi/>

下甑島沖浮魚礁音声情報サービス TEL : 099-219-4828

漁海況週報FAX情報サービス FAX : 099-239-5006